



第50回たぶせ桜まつり(4月2日) 満開！満員！！

新議会構成決定	2P
3月定例会	4P
委員会レポート(予算審査特別委員会)	7P
9人の議員が町政を問う	10P
傍聴記	19P
研修報告	20P
議会だより156号を読んでの感想	21P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

ホームページの「議会だより」は、表紙がカラーとなります。

決意を新たに任期後半スタート

2月27日の臨時会で議会構成決まる



2月27日に臨時会を開き、正副議長の選任及び、総務文教、経済厚生、議会広報の3常任委員会、議会運営委員会の構成と正副委員長の互選、一部事務組合の議員等を選びました。また、人事1件の町長提出議案を審議しました。

就任のあいさつ

安心して暮らせる町づくり

議長 南 一成



2月の臨時会において、議員の皆様の賛同を得て議長に選任されました。この事は身に余る光栄と同時に、議決機関である議長の責務を感じています。議会では中立、公平、

公正、そして品位のある運営に努め、町執行部とは議会制民主主義に基づき二元代表制の一翼を担う議会として、良い意味の緊張感を持ち、議論を重ねて『安心して暮らせる町づくり』をしていきたいと思います。

町民の皆様には、より身近で開かれた議会を目指し努力して参ります。皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

町民に信頼される議会を目指す

副議長 内山 昌晃



新人でありながら副議長に就任することとなりました。まことに光栄に思いますと同時に、重責を痛感し身の引き締まる思いです。町は、第6次総合計画に基づき、子育て支援や人口減少抑制、安心安全なまちづくり等に取り組

んでいます。

議会においても皆様のご意見ご要望を町政に届けるとともに、有意義で実効性のある活発な議論を行ってまいります。

町民の皆様が、安心して暮らせるよう、また、信頼される議会を目指し、一生懸命取り組む所存です。

今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



経済厚生委員会

前列右から
神田 栄治
◎伊村 涉
○谷村 善彦
後列右から
内山 昌晃
落合 祥二
松田規久夫



総務文教委員会

前列右から
○高月 義夫
◎西本 篤史
瀬石 公夫
後列右から
河内 悦郎
賀寿



議会運営委員会

前列右から
伊村 涉
◎内山 昌晃
○谷村 善彦
後列右から
高月 義夫
西本 篤史
松田規久夫



議会広報委員会

前列右から
谷村 善彦
◎高月 義夫
○河内 悦郎
後列右から
内山 昌晃
落合 祥二
賀寿

◎= 委員長 ○= 副委員長

監査委員

松田規久夫

一部事務組合協議会議員

周東環境衛生組合

神田 栄治
瀬石 公夫

熊南総合事務組合

瀬石 公夫
高月 義夫

田布施・平生水道企業団

谷村 善彦
内山 昌晃

光地区消防組合

西本 篤史
落合 祥二

柳井地域広域水道企業団

◎内山 昌晃
○谷村 善彦

民生委員推薦会委員

伊村 涉
内山 昌晃

都市計画審議会委員

伊村 涉
内山 昌晃

河内 悦郎
西本 篤史

高齢者保健福祉推進協議委員

伊村 涉
谷村 善彦

人権教育推進協議会委員

◎内山 昌晃
◎河内 悦郎

交通安全対策協議会委員

松田規久夫

施福会理事

南 一成

議決事項

町長提出議案

○監査委員の選任について

【全員賛成】



3月定例会

一般会計当初予算

64億9,800万円(前年度比5.8%減)



本会議 (3月7日)

令和5年3月定例会は3月7日から14日間の日程で開かれました。本定例会では、町長提出議案の令和5年度当初予算5件、令和4年度補正予算5件、条例12件、人事6件及びその他6件並びに議員提出議案1件の合計35件を審議・審査しました。なお、7日と8日の本会議では、9人の議員が一般質問に登壇しました。

町長提出議案

令和5年度当初予算

●一般会計

予算総額は64億9800万円、前年度に比べ5.8%、4億200万円の減額です。

〈主な歳入〉

・町税

17億3554万円、個人町民税・固定資産税の増収を見込み、前年度に比べ2682万円の増額です。

・地方交付税

21億6000万円、地方財政計画により、前年度に比べ3500万円の増額です。

・国庫支出金

7億6692万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や新型コロナウイルススワクチン接種事業費の減などにより、前年度に比べ1億2118万円の減額です。

・財産収入

2223万円で、町有地の売却収入を見込み、前年度に比べ1611万円の増額です。

・寄附金

4073万円で、ふるさと寄附金の受け入れ減を見込み、前年度に比べ1972万円の減額です。

・繰入金

1億6244万円で、公共施設整備基金繰入金が減となることから、前年度に比べ1452万円の減額です。

・町債

4億9980万円で、保健センター整備事業等に伴う防災拠点施設等整備事業債の減などにより、前年度に比べ3億5950万円の大幅な減額です。

〈主な歳出〉

・総務費

9億6918万円で、保健センター整備事業費や新型コロナウイルス地域支援対策費の減などにより、前年度に比べ4億4935万円の大幅な減額です。

・民生費

20億3449万円で、子

ども医療給付費が増、麻郷児童クラブ2組施設整備事業費や国民健康保険特別会計への繰出金の減などにより、前年度に比べ1588万円の減額です。

・衛生費

5億4431万円で、新型コロナウイルススワクチン接種事業費が減、大平飲料水供給施設整備事業費、周東環境衛生組合負担金や水道料金低減対策補助金の増などにより、前年度に比べ2810万円の増額です。

・商工費

7909万円で、地域公共交通計画策定事業費や観光協会への補助金が増、のんびらんど・うましま駐車場整備費の減などにより、前年度に比べ478万円の減額です。

・土木費

10億3648万円で、豆尾第1踏切拡幅事業費の増などにより、前年度に比べ9626万円の増額です。

・消防費

3億372万円で、防災行政無線線操作卓更新事業費の減などにより、前年度に比べ1億882万円の減額

です。

・教育費

6億110万円で、スポーツセンター大規模改修事業費の計上により、前年度に比べ6790万円の増額です。【全員賛成】

●特別会計

○国民健康保険

18億6352万円で、一般被保険者療養給付費の減などにより、前年度に比べ124万円の減額です。【全員賛成】

○介護保険

15億7975万円で、施設介護サービス給付費の減などにより、前年度に比べ3587万円の減額です。【全員賛成】

○後期高齢者医療

3億3263万円で、後期高齢者医療保険料負担金の減などにより、前年度に比べ1458万円の減額です。【全員賛成】

○下水道事業

今年度から、経営状況をより適確に把握するため、地方公営企業法を適用した会計制度に移行。

66万m³を処理するための、整備事業として、中央雨水1号幹線、平田川

浜城雨水枝線の管渠整備、公共ます設置工事等を実施予定。

収益的収支のうち、収益的収入は営業収益、営業外収益で5億8330万円、収益的支出は営業費用、営業外費用などで4億9314万円。

資本的収支のうち、資本的収入は企業債、補助金などで3億2304万円、資本的支出は建設改良費、企業債償還金で5億6291万円。【全員賛成】

令和4年度補正予算

●一般会計(第8号)

5262万円を減額し、総額78億7832万円。

なお、全体の収支調整等として、財政基金への積立金を1億3100万円増額です。(主な歳入補正)

・町税

2840万円増

・地方交付税

5637万円増

・国庫支出金

9148万円減

・県支出金

1489万円減

・寄附金

1542万円減

・町債

1940万円減

(主な歳出補正)

・総務費

8794万円増
各事業費の減額見込み等がある一方、財政基金へ積立。

・民生費

5322万円減
国民健康保険、介護保険、

後期高齢者医療特別会計に対する繰入金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費の減額です。

・農林水産業費

1200万円減
農地耕作条件改善事業費の減額等です。

・土木費

2233万円増
下水道事業が公営企業会計移行に伴う打切決算となるため、出納整理期間の使用料収入分を下水道事業特別会計繰入金に上乗せした等です。

・消防費

978万円減
消防施設等整備事業費の減額等です。

・教育費

1198万円減
埋蔵文化財発掘調査事業費の減額等です。

おもな質疑

Q 繰越明許は、会計年度独立の法則の例外、安易に行わな

いように。

A 国から予算が付く時期が遅い等もあるが、今後も年度内に終わるよう努める。

Q 買い物送迎サービス事業の増便については広く町民に周知が必要と思うが、チラシ配布等の費用は。

A 広報で周知しただけで、チラシの費用は計上していない。社協だより等も利用してPRしたい。

Q 高齢者福祉タクシー利用助成の利用者増の要因は。

A PRをしたところ申請者が増え、実績が増える見込みのため補正した。

Q Wi-Fiが、当初の予定より使用開始が遅れたのは。

A 利用規約の整備の関係と機器の納品が遅れたため、3月中の利用開始になった。

Q コロナワクチンの接種率は。

A オミクロン株の接種は5割を超えたくらい。

Q 学校給食無償化事業が550万円の減額になっているが、3月末までの支出見込みは。

A 2253万円の見込み。

Q マイナンバーカードの直近の交付率は。

A 2月末現在、申請率84・59%、交付率70・44%。

Q 一般会計から特別会計への繰出金の上限は。

A 法的なルールに基づいている。町負担になるため上限はない。

Q 有害鳥獣捕獲補助金を増額しているが、捕獲数は。

A 令和4年度の現捕獲頭数は、2月末でイノシシ221頭、アナグマ14頭、タヌキ3頭、ヌートリア2頭、カラス3羽、ヒヨドリ2羽。

Q 公認スポーツ指導者資格取得費補助が18万円減額されているが。

A 更新者がいなかったため減額した。

Q 定井手橋から役場までの工事を、なるべく早く完成を。

A 状況次第だが、5月〜6月くらいには完成予定。

Q スクールバス運行委託料の減額理由は。

A 校外学習が減ったため。

Q 地域おこし協力隊。なかなか応募がないようだが。

A 4月から採用が決まっている。農業を中心に町の活性化に取り組んでもらう予定。

Q 森林環境基金は、城南住宅や保健センターの地域木材に使うという説明だが、地域木材であるという確認方法は。

A 納入伝票等で確認してい

る。
【Q】無停電電源装置の1年間のリース料は。

【A】年間120万円。事業費は全額国費。【全員賛成】

●特別会計

○国民健康保険(第3号)

3573万円を減額し、総額は18億3503万円です。【賛成多数】

○下水道事業(第4号)

2178万円を増額し、総額は8億8320万円です。【賛成多数】

○介護保険(第4号)

6497万円を減額し、総額は16億2020万円です。

【Q】保険給付費が全般的に約5000万円低くなったのはなぜか。コロナでサービスを受けなかったのが要因か。

【A】地域密着型介護サービスは、新設事業者の利用が見込みよりも少なかった。施設介護サービスは、入所すると

コロナで面会ができなくなるため、利用を控える人が増えたと聞いている。

【Q】介護予防生活支援サービス事業が200万円増えているが。

【A】施設入所が減っている分、自宅で過ごす人が増え、ヘル

パーの利用が増えたと考えている。【賛成多数】

○後期高齢者医療(第3号)

3137万円を減額し、総額は3億1632万円です。

【Q】後期高齢者医療保険料負担金が2580万円減になっている。医者にかかった件数が減ったのか。

【A】高齢者が納める保険料を、広域連合に納めているが、納める額が広域連合の当初見込みより減ったため。【賛成多数】

条 例

○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 【全員賛成】

○情報公開条例及び公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正 【全員賛成】

○使用料及び手数料条例の一部改正 【全員賛成】

法に規定される審査請求人等への提出書類等の写しの交付に係る手数料を定めるため、改正を行うもの。

【Q】役場のコピー代20円は高いのでは。

【A】スーパーやコンビニでコピーすると役場でするのは、趣旨が異なるという事で区別している。【賛成多数】

○駐輪場管理条例の一部改正 【全員賛成】

○印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

令和5年度からのマイナンバーカード利用によるコンビニ交付に対応するもの。【賛成多数】

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 【賛成多数】

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 【賛成多数】

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 【賛成多数】

○子ども・子育て会議条例の一部改正 【賛成多数】

○国民健康保険条例の一部改正 法の改正に伴い出産育児一時金の支給額を40万8000円から48万8000円に改めるもの。【賛成多数】

○高齢者介護予防センターの設置及び管理に関する条例の廃止 【賛成多数】

○情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正 【全員賛成】

人 事

○情報公開・個人情報保護審査会委員の任命

新制度による審査会委員として、次の5名を任命することに同意するものです。(任期は4月1日から2年間)

- 藪本 知二氏
- 田中 孝道氏
- 塩田 和子氏
- 山根 和美氏
- 立部 文崇氏

○人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い引き続き長迫 晃氏を推薦することに同意するものです。(任期は7月1日から3年間)

そ の 他

○財産の無償譲渡

廃止した田布施町高齢者介護予防センターの今後の有効活用並びに管理等を考慮し、現在、指定管理をお願いしている社会福祉法人

施福会に無償譲渡するもの。【賛成多数】

○辺地総合整備計画 大平飲料水供給施設がある地域の飲料水を安定的に供給するため、法に基づき、計画を定めるもの。【全員賛成】

○字の区域の変更(国営南周防土地改良事業「時貞換地区」) 【賛成多数】

○町道路線の認定及び廃止 概ね3年に一度の町道の見直しに合わせ、実施するもの。【賛成多数】

○山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更 【全員賛成】

○山口県市町総合事務組合の財産処分。【全員賛成】

議員提出議案

○町議会の個人情報保護に関する条例の制定 【全員賛成】

予算審査特別委員会

5年度予算 (一般会計)



予算審査特別委員会 (3月10日)

麻里府公民館整備

1億353万円

子ども医療費助成制度拡充(高校生まで)

3,207万円

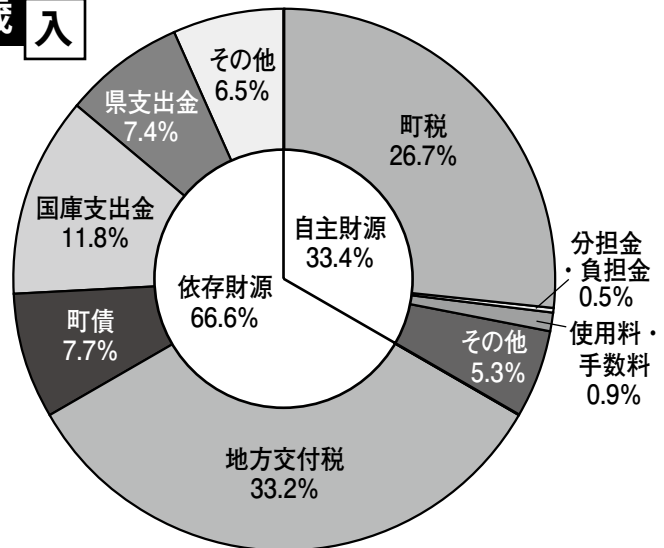
おむつ定期便(1歳の誕生日まで)

521万円

令和5年度一般会計予算及び各特別会計当初予算、下水道事業会計予算の審査を行うため、予算審査特別委員会が設置され、議長を除く全議員で特別委員会を構成し、3月10日に開会、活発な質疑による審査をしました。

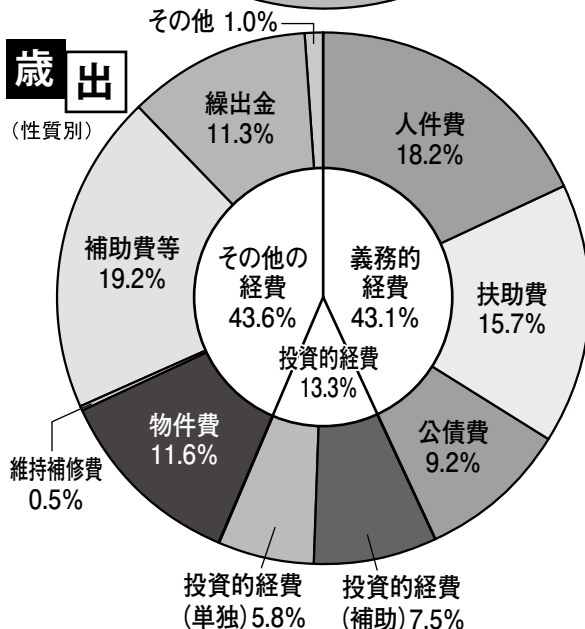
区 分		予算額
自主財源	町税	17億3,554万円
	分担金・負担金	2,992万円
	使用料・手数料	6,176万円
	その他(自主)	3億4,552万円
依存財源	地方交付税	21億6,000万円
	町債	4億9,980万円
	国庫支出金	7億6,692万円
	県支出金	4億8,004万円
	その他(依存)	4億1,850万円
合 計		64億9,800万円

歳入



区 分	予算額
人件費	11億8,120万円
扶助費	10億2,499万円
公債費	5億9,593万円
投資的経費(補助)	4億8,924万円
投資的経費(単独)	3億7,539万円
物件費	7億5,568万円
維持補修費	3,502万円
補助費等	12億4,684万円
繰出金	7億3,184万円
その他	6,187万円
合 計	64億9,800万円

歳出



おもな質疑 Q&A

一般会計

《歳出》

◆人件費・議会費・総務費

●訴訟委託料 110万円

●訴訟委託料はどのような内容か。

▲弁護士とは単価契約。事例が発生するたび請求が来て支払う。

●ふるさと寄附金記念品等

●ふるさと寄附金事業委託料 979万円

●ふるさと寄附金記念品等費用と事業委託料が、同じぐらいかかっている。今後記念品が増えても、事業委託料が同じように増えたら今と変わらないのでは。

▲返礼品はパンが主力。冷凍で送るので送料が高く経費率は高くなる。新たな返礼品を事業者と検討中。送料も業者一元化で割引適応

●サテライトオフィス等推進事業 644万円

●サテライトオフィス等推進事業 644万円

●サテライトオフィス誘致推進事業の負担割合は。

▲この事業は県2分の1、町2分の1の負担割合。

●県情報セキュリティクラウド負担金 102万円

●県情報セキュリティクラウド負担金

▲県情報セキュリティクラウド負担金が昨年より大幅に下がっている(212万円減)のはなぜか。

▲第2期セキュリティクラウド更新が終わり、開発費が無くなったため下がった。

●情報発信事業委託料 660万円

●地域活性化起業人(企業人材派遣制度事業)での契約が3月末というのは今年度末か。

▲この3月末、協定をDMM.comと結ぶ予定。契約期間は1年間と考えている。

●コンビニ交付及び被災者支援システム事業(消防) 274万円

●すべてのコンビニが対象か。

▲すべてのコンビニが対象。マイナンバーカードによりワンストップで証明書等受

●町窓口交付は手数料が入るが、コンビニ交付になると入らないか。

▲コンビニ交付でも、手数料の一部を町に納入。

●郵便局型キオスク端末の導入 300万円

●導入は、コンビニが無く、郵便局があるところになる。城南と麻里府の郵便局になるか。

▲郵便局に置くという事は未決定。回線の状況など総合的に判断して決定。公民館の選択もある。

●土地購入費 100万円

●光地区消防組合東出張所移転の新規予定地裏の、町による土地購入費が安いように思うが。

▲道路とも接しない残地として安く購入できる。消防の訓練等にも活用できる。

●民生費・衛生費

●医療供給体制支援事業 355万円

●いままでなかった事業だが内容は。

▲柳井医療圏の産科医を確保するための費用で、本町の負担金を新たに計上。従来あった産科医師確保事業や周産期医療支援事業等は廃止となる。

●浄化槽設置整備事業 830万円

●浄化槽補助事業は何件を想定しているか。

▲5人槽を15基、7人槽を8基計上。足らなければ補正予算で対応。

●大平飲料水供給施設 2930万円

●方式の検討で、各戸自家用井戸設置の選択肢は。

▲費用的には安価であるが、水が出なくなった時のリスクがあり、町としては採用できない。

●労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費

●漁業者経営自立化支援事業 58万円

●新規漁業者はどれぐらい入ったか。

▲新規漁業者は現在1名。過去5年間に2名。

●たぶせJ・U推進協議会 0円

●例年ある補助金がないが、廃止になったのか。

▲コロナ禍で補助の残高があり、来年度はあえて計上を見送った。

●生活バス路線対策事業費

●年々増えてきているが、528万円

▲補助金の算出方法が、3年平均ではなく、直近の補助金から算出するよう変更になり増額となっている。

●町観光協会補助金 700万円

●緊縮で各課予算をどう削減するか苦心している中、昨年より250万円増額した内容は。

▲高齢者いきいき館に8月移転予定後の観光協会職員

の延長勤務と、のんびらんど・うましまでのイベント実施等。

●任意団体への補助金支出におけるルールづくりを。

▲しっかり検討したい。

●民間宅地開発支援事業 600万円

●基準日が4月1日ではなく7月1日となっている理由は。

▲議会議決後、5月の広報や町ホームページ、業界団体への告知を考え、7月1日から施行が可能か検討する。

●団地の要件の4m幅道路は、狭く車が離合しにくい。6m幅とし、田布施町の補

助する団地は高規格団地とすれば、購入者にもよいのでは。

Q 意見を参考に前向きに検討させていたたく。

Q 宅地は売れ残れば、町にとつてあまりメリットがないと思える。土地購入者に直接補助する方が、よりメリットが出るのでは。

A 購入者への補助は、親元近居・子育て住まいの支援や、新婚なら30万円(30歳)、60万円(29歳以下)の補助がある。

● 駅周辺整備工事 168万円

Q どのような内容か。

A 田布施農工高校から、特に秋・冬、駅前が安全面でも暗くて怖いとの要望を受け、駅前にイルミネーションと投光器を設置し、明るさと賑やかさを演出する。

◇ 消防費・教育費・公債費・諸支出費・予備費

● 学校衛生用品サポート

Q 学校トイレへの生理用品常備を。

A 来年度から学校トイレへ設置予定。

● スポーツ推進計画策定委員について

Q 令和6年度より新しいス

ポーツ推進計画に移行する。来年度は策定委員の選定協議が行われると思うが、どのように取り組まれるか。

A 計画策定に向け、委員の選出はあらゆる課題を見据えて人選を協議していく。

● 学校給食費

Q 今年度3月末まで学校給食費は無償。来年度はどうか。

A 来年度は無償化の予定はない。

● 図書購入費 150万円

Q 図書の充実と子どもの読書活動の推進について。

A 本購入費と0歳児のブックスタート事業と3歳児のセカンドブック事業、0歳児から本に親しむためのプレゼント事業。

《歳入》

● 周南市事務協力金 3567万円

Q 収入の用途はあるか。

A 一般財源ではあるが、子育てや介護等への扶助費に充当している。

● 水道用水供給事業出資債 元利補給(県補助金) 1046万円

Q 元利補給の国、県、町の分配の割合は。

A 令和5年度償還金の元金と利子合わせたものを、国2分の1、県4分の1、町4分の1の比率。

【全員賛成】

特別会計

◇ 国民健康保険

● 特定健康診査等事業費 1007万円

Q コロナ禍での受診数の推移は。

A 受診数は昨年度同時期に比べプラス69名の747名。

【全員賛成】

◇ 介護保険

● 住民団体等補助金 116万円

Q 住民団体等補助は何に対する補助金か。

A 馬島での訪問型サービスに対する補助金。

【全員賛成】

◇ 後期高齢者医療

【全員賛成】

◇ 下水道事業会計

● 下水道事業費用修繕費 551万円

Q 配管等設備のメンテナンスは。

A 下水道も30年経過し、維持管理が必要になる。特にマンホールの蓋の交換がでている。

【全員賛成】

令和5年度新規事業

事業名	事業内容	担当課
①妊娠出産・子育て支援給付金等	(1)伴走型相談支援 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援 (2)経済的支援 妊娠届出後:5万円、出生後1人あたり5万円	健康保険課
②おむつ定期便	満1歳になるまで子どもを養育する世帯に、地域子育て支援センター「おんとも」で定期的におむつを無償配布。また、1歳の誕生日には町からお祝い品を届ける。	町民福祉課
③医療提供体制の支援(産科医師等)	周東総合病院が産科医師及び小児科医師を雇用する経費の一部を関係する1市4町で支援。	健康保険課
④麻里府公民館の整備	老朽化した麻里府公民館を移設し、コミュニティーと防災機能を備えた施設として整備。今年度は土地の造成工事と実施設計を行う。	総務課
⑤避難計画の策定協議	ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など、災害発生時に支援を必要とする人(避難行動要支援者)が円滑に避難するための「個別避難計画」、社会福祉施設や病院・学校等の要配慮者利用施設で地域防災計画に定められた施設における「避難確保計画」の策定に向け関係者と協議を行う。	総務課
⑥尾津漁港メンテナンス事業	馬島地区の海岸保全施設において、老朽化した防波堤のメンテナンスの実施設計を行う。	経済課
⑦大平飲料水供給施設の整備	老朽化している大平飲料水供給施設の更新を行う。今年度は、測量、地質調査、ポンプ場・配水池・管路の実施設計を行う。	町民福祉課
⑧公共下水道の管理・整備(法滴化)	今年度から経営状況をより的確に把握するため、地方公営企業法を適用した会計制度に移行する。また、整備事業として、中央雨水1号幹線、平田川・浜城雨水枝線の管渠整備を予定。	建設課
⑨子育て住宅(第2工区)の整備	子育て世帯を対象とする城南住宅の第2工区(4棟(8戸)とキッズルーム)の建築工事を実施。	建設課
⑩民間事業者が行う宅地開発の支援	町内で、第三者に販売提供する目的で分譲用宅地を造成する事業者に対して、1区画あたり30万円の補助金を交付(最大5区画)。	建設課
⑪地域公共交通計画の策定	町民生活や通勤・通学の利便性の確保及び向上を図るため、町全体の公共交通ネットワークの再構築を掲げる「田布施町地域公共交通計画」の策定を行う田布施町地域公共交通協議会に対し、かかる経費の一部を補助。	経済課
⑫サテライトオフィス誘致推進事業	町内に企業等がサテライトオフィスを開設する際、開設費用等(通信回線料、不動産賃借料、施設改修費等)の一部を補助。	企画財政課
⑬地域活性化起業人(企業人材派遣制度)の活用	町民の利便性や職員の業務効率を向上させることを目的に、SNS等を活用した情報発信や行政事務のデジタル化のサポートなどを行う地域活性化起業人を受け入れる。	企画財政課



3月定例会
一般質問

9人の議員が町政の課題を問う

光地区消防組合東出張所

移転候補地は

西本 篤史

波野地区・平田交差点付近へ 東 町長



西本 篤史 議員

Q 光地区消防組合東出張所（城南）は築約50年経ち老朽化している。旧耐震基準により設計されており大規模地震には対応できない。建て替える場合は移転しなければならぬ。今後の移転先は決まったのか、建て替え費用の町の負担、住民説明は。



老朽化し移転する城南地区の光消防組合東出張所

A 老朽化により全面建て替えるの移転案。波野平田交差点付近を移転候補地とする。移転に伴い地域住民への説明をする。平田自治会や東田布施地域連合自治会、現出張所がある城南地域連合自治会並びに田布施町自治会連絡協議会、自治会長集会で4月から説明していく。

建替え費用 町の実質的な負担額（約2,300万円）

整備費は、約3億8,000万円と見込み、構成市町（光市、周南市、田布施町）で負担する。このうち、田布施町の負担額は約7,800万円で、うち地方交付税措置は約5,500万円となる。

社会教育事業

少子高齢化の影響は

西本

関係者と連絡・調整する
鳥枝 教育長

Q 町の社会教育事業は町民全員が何らかの形で携わっている。今、少子高齢化の影響が出てきている。町内スポーツ少年団では2団が少子や指導者不足により解団した。また、一部放課後子ども教室も講師の高齢化により休止される。事業継続には広域化や連携が必要。今後の方針は。

社会教育5つの重点政策

- 生涯を通じた学びの充実
- 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進
- スポーツ活動への参加の促進
- 地域とともにすすめる文化の継承と創造
- 学校・家庭・地域における読書活動の推進

A 近年、高齢化も進展し、地域活動に積極的に参画する機会が減少してしまいう傾向にある。スポーツ少年団の2団体は、加入者の減少や指導者の都合などにより、存続していくことが困難であると判断された。放課後子ども教室は、現在、継続できるよう関係者等と連絡・調整に努めている。

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

事業の評価

施策に反映しているか

内山 昌晃

優先順位、費用対効果を重視 東 町長



内山 昌晃 議員

【A】総合計画・総合戦略は各課ヒアリング等行い、事業の課題・問題・改善点を整理し検証。各課予算は課長、副町長、町長の順に査定、検証結果とバランスを考慮し決定。縮小、見送り事業は施策の優先順位や費用対効果を検証し、事業の見直し、年度間調整。持続可能な行財政運営を目指す。

【Q】新度予算は4億6千万円の財源不足の中、子育て、人口減少抑制、デジタル化等を掲げ、8の拡充事業、13の新規事業を実施する積極的な予算編成だ。事業の評価(計画・実施・評価・改善)は誰がどう行い、施策に反映しているか。財源不足を理由に実施しない事業や縮小した事業はあるか。

安心・安全なまちづくり 防犯カメラの設置を

内山

公共性、優先度により検討

町長

【Q】広域連続強盗事件は、高齢者をターゲットに全国各地で発生、県内でも若国市で発生。本町も決して安全な地域ではない。各家庭では自衛の手段を講じる必要があるが、公共施設や主要道等は、町が防犯カメラ等を設置し、町民の安全を守る必要がある。カメラの設置等を考えているか。

【A】駅前駐輪場、図書館内、交流館、交流館横トイレ、役場庁舎内出入口に設置済。防犯カメラ設置は犯罪の予防、解決に有効であるが、維持費や更新の必要もあり、公共性、優先度等を考慮し検討。警察等と連携し高齢者宅を訪問し、特殊詐欺防止の取組を行っており、その中でも対応する。

交流・関係人口の拡大を

馬島飛躍のチャンス

内山

積極的に取り組む

町長

【Q】アフターコロナも間近。交流・関係人口拡大の拠点の馬島では、島在住の若者達が継続的に活動している。町として彼らとどう関わっていくか。昨今のキャンプ・サウナブームをどう活かしていくか。また、長年の懸案事項、「のんびらんど・うましま」の通年での運営に新たな展開があるか。

【A】若者達のイベントに積極的に協力していく。キャンプは情報発信、専用サイトに掲載していく。次年度以降に新たなイベント実施予定。サウナは水の確保や施設に課題があり困難。通年での運営はオフシーズンのイベントの開催を検討。課題である水問題の解決に向け前向きに検討。



交流館横トイレの防犯カメラ

自然の学び舎 & 遊び場

しまっこ隊

URASHIMA YAHAGUCHI

のんびらんど うましま

うましま COLOR

チェックイン11時チェックアウト翌日16時30分と、のんびり過ごせるのが特徴の島のキャンプ場。営業は4月～10月まで。キャンプとテント泊が選べます。

元田布施町地域おこし協力隊の藤田夫妻+馬島の若者が馬島の魅力をブログ・facebookで発信しています。

馬島の自然の中で、子ども自身が興味を持ったことにチャレンジできる自然の学び舎&遊び場。第2・第4日曜開催している。(予約制)

町の基金（貯金） 20億円

有効活用を

瀬石 公夫

計画的に基金を繰入れる 東 町長



瀬石 公夫 議員

Q 新型コロナウイルス感染症の生活への影響、また物価高騰で町民生活は大きな影響を受けている。こうした中、町の令和4年度基金（貯金）残高見込は20億6405万円である。これを有効活用し、小・中学校の給食の無償化、町道の草刈予算の増額、国保税、介護保険料の引き下げを行うには。

A 財政基金（貯金）等は余剰金を積み立て、財源が不足する年度に活用するものである。学校の給食の無償化は現状では難しい。町道の草刈を地元で行なう事に限界が来ている。どういう方法が良いか考える。国保税、介護保険料は計画的に基金の繰入れを行い税率、保険料の抑制に努める。

田布施町基金一覧表 令和4年度残高見込

基金名	金額
財政基金	9億8,061万円
減債基金	2,617万円
公共施設整備基金	3億4,191万円
地域福祉基金	981万円
森林環境基金	386万円
国営農地再編整備事業負担金支払基金	4,000万円
奨学基金	5,537万円
土地開発基金	2億3,843万円
国民健康保険事業基金	1億4,861万円
介護給付費準備基金	2億1,878万円
県収入証紙購入基金	50万円
合計	20億6,405万円

各小学校のプールは老朽化

スポーツセンターのプールが使用できないか 瀬石

中学校のプールの活用も視野に

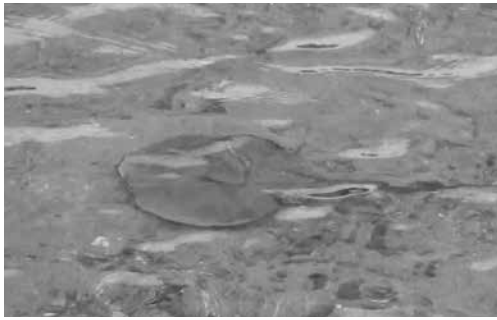
鳥枝教育長



TAICO スポーツセンター田布施 プール

Q 町内各小学校にはプールがあり、体力向上や安全確保に効果を上げている。しかし、プールの更衣室やトイレは和式で古く、プール設備、プールサイドは老朽化しており、早急に改修が必要と思われる。そこで、スポーツセンターのプールを各小学校の授業で使用できないか。

A スポーツセンターのプールを授業で使用することについては、各学校の水泳指導に係るカリキュラムの実施計画やスポーツセンターの利用状況等を勘案して実施時期の調整、移動手段や輸送手段等について検討する必要がある。今後、中学校のプールの活用も視野に入れながら検討する。



カブトガニ



松田 規久夫 議員

環境省に働きかけを

松田 規久夫

30
by
30

既存の視点で整理されている

東 町長

Q G7各国は2030年までに地球の陸と海の30%を自然環境エリアとして保全することを目標としている。日本は陸上で約10%、海で約17%の追加認定が必要。小行司のギフチョウ、平生湾の生きている化石と言われるカブトガニは、生息地として環境省の認定が可能では。

A 30 by 30にかかるモデル事業・補助については、国において経済的なインセンティブの素案について論点整理がなされている段階であり、30 by 30に特化した制度というより、既存の補助事業の活用といった視点で整理されている。

道の駅

行政が先頭で旗を振る計画を

松田

設置は考えていない

町長

Q 麻里府に高台へ避難所を兼ねた公民館移転の計画があり、2つプロジェクトチームがある。地域活性化、住民の利便性向上のため、行政、プロジェクトチームに汗をかいて欲しい。地域を巻き込み、行政が先頭に立ち旗を振る必要がある。次世代に希望が持てる道の駅へ挑戦は。

A 地元の意向に沿った形で整備を進めており、現時点では、道の駅の設置は考えていない。今後、コロナも2類から5類へと引き下げられ日常生活に戻ることから、関係機関と連携しながら馬島の活性化及び麻里府地区振興について進めていく。

川の駅

「川の駅交流館」の実現は

松田

先進事例を参考に調査・研究

町長

Q 田布施川は県管理の2級河川であり、交流館は川に面して施設がある。交流館を山口県最初の川の駅として、今以上に観光客と購買客を呼び込む起爆剤にできないか。交流館は桜、近隣公園は植樹をして紅葉で、来客者に年2回のアピールが可能では。

A 道の駅のように登録基準が明確に定められておらず、現状は道の駅と同等の機能を持つように整備された施設等を任意で川の駅と呼称している。河川管理者の県や関係団体などと十分協議をする必要がある。先進事例等を参考に、調査・研究をする。



田布施川交流館沿い

議会だより152号表紙(写真提供:清神清さん)

避難訓練実施等

避難体制の実効性の確保を

神田 栄治

自主防災組織と協議し実施中

東 町長



神田 栄治 議員



田布施町率先避難計画

Q 災害対策では、防災、減災、避難が重要。町内全域で自主防災組織が立ち上がり避難体制が整ったように見えるが、想定どおり避難が進むか検証の必要がある。町の仕事は、個別の避難計画を全町分ちエックし、避難体制が未整備の班や自治会へ指導を行う事だと考えるが、如何お考えか。

A 町内にある5つの自主防災組織は、設立もまちまちで、また地域ごとで災害リスクも異なるため、状況に応じた支援を行っている。避難行動は、家族や近所の方からの声掛けが有効であるため、避難行動要支援者の避難も含めた住民主体の率先避難体制づくりに努めている。

灸川の氾濫対策

「流域治水」の推進を

神田

県と連携し対応していく

町長

Q 水害の更なる頻発・激甚化が懸念される中、灸川は、危険氾濫水位に達する時間が早く、堤防が決壊したこともあり対応が急がれる。国は、新たな事前防災対策「流域治水」を推進。この中で、経費も少なく、氾濫を防ぐ効果も高い「田んぼダム」設置の取組ができないか。

A 町では、「田布施町地域の県管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、逃げ遅れゼロを目指し、「田布施地域の減災に係る取組方針」も作成し、減災に向けた対策を推進している。「田んぼダム」の検討は、田布施川水系流域治水プロジェクトで対応していく。

事業者の経営継続

物価高、コロナ禍対応を

神田

国・県の制度を紹介しつつ進める 町長

Q コロナ禍第8波はピークを過ぎたが、飲食店等での客足は、コロナ禍前まで回復していない。コロナ禍時に受けた融資の借り換えが必要な事業者もいる。また、物価高、電気料金の高騰が全産業において経営を圧迫している。この難局を乗り越えるため、再度

A コロナ禍での事業者支援として、各種の事業を実施してきたが、物価高騰等による影響は、すべての住民が受けており、特定業種に絞ったの支援は、現在のところ考えていない。事業者の方には、県や

国が実施している制度資金等を紹介しつつ、今後の状況をみながら進めていく。



田布施地域応援商品券(2022)



灸川橋水位観測所



障がい者支援

合理的配慮を

國本 悦郎

年次計画を立て施設の整備

東 町長



國本 悦郎 議員

民間事業者への助成予定はなし⑥職員向けに対応要領、町民向けにはリーフレットや広報等で啓発⑦当面は困難。

Q①障がい者から公共施設への合理的配慮の要望は②合理的配慮の実施状況は③議場に合理的配慮を④新規公共施設と第一次避難所には、多機能トイレと車椅子の常備を⑤民間への助成事業の現状と今後の助成は⑥意識改革の為に⑦町の職員に車椅子使用者の雇用は。

A①障がい者からの要望はなし②施設では自動ドア等、窓口には対話支援機器等設置③車椅子対応以外の配慮は計画的に整備④多機能トイレは町内に5カ所、他は今後検討⑤

事業者は、その事業を行うに当たり、障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならない。

改正障害者差別解消法 第8条第2項

インクルーシブ教育

合理的配慮は 國本

同じ場で共に学ぶ機会を確保 鳥枝教育長

生涯スポーツ

NPO法人の設立を 國本

先進的な事例を 参考 教育長



NPO法人 A-life なんかん (熊本県 南関町)

Q①町内の学校のインクルーシブ教育における合理的配慮は②教員間、児童・生徒間、障がい者の親と関係する教員間、保護者や地域住民と学校間の理解は③移行時の情報の引継ぎは④総合支援学校と町内学校との児童・生徒間の交流、共同学習は⑤田布施町教育振興基本計画の発行は。

A①連続性のある「多様な学びの場」となるように配慮②特別支援教育の充実と障がい者理解の推進③個別の支援計画や指導計画の果たす役割は大きく、確実に引継ぐ④城南小と総合支援学校とは運動競技等、中学校とは作品の展示等で交流⑤総合計画との絡みで基本計画の策定に取組中。

Q①6月議会で行った一般質問の検討課題のその後の進捗状況と検討課題は②当面、土日の部活を地域への移行はどのような形態で、また、過渡

期における部活の形態は③介護予防事業や障がい者スポーツの現状は④田布施町教育振興計画と田布施町スポーツ推進計画に先進地事例を。

A①部活動の地域移行に関する推進協議会で、経緯や主旨を共通理解。アンケートを実施し、意向を把握②部活の地域連携と休日の地域クラブ活動の併存も視野③利用者数に比し介護事業所が超過傾向。障がい者スポーツは「キラリピック」やふれあい球技大会等④先進的な事例を参考。



ふるさと寄附金サイト ふるさとチョイス



高月 義夫 議員

一層の促進を

先進事例参考に検討

東 町長

高月 義夫

ふるさと寄附金

Q 財源が厳しい中、ふるさと寄附金は大切な取り組み。寄附金の状況は、件数は多いが1件当たりの寄附金額は少ない。今年度の状況と伸び悩む要因、また、新たな商品開発例えはのんびらんど・うましま等の活用、更に寄附者と田布施町の更なる繋がりを持つ手段など、町の取組を聞く。

A ふるさと納税は、ルールのもとしっかり取り組むべき施策。しかし昨年度と比べ概ね33%減となる。返礼品の多くが少額のパンが主力である。新たな商品開発を事業者と進めている。のんびらんど・うましまも前向きに検討。寄附者との繋がりを持つ手段を、先進事例も参考に検討する。

鳥獣被害対策

進捗は

高 月

捕獲隊・猟友会と連携

町 長



鳥獣被害対策チラシ 大分県

Q 一昨年12月に一般質問した、狩猟者に負担をかける鳥獣の処分についての答弁で、広域で考えるので県東部鳥獣被害広域対策協議会へ声を届ける、との回答。その後の経緯と、今年度で終了の田布施町鳥獣被害防止計画で、これまで実施した取組と見えてきた課題について尋ねる。

A 県東部鳥獣被害広域対策協議会は、コロナ禍により書面で要望提出。多くの市町共通課題と認識し今後も検討。鳥獣被害防止計画は、捕獲隊・猟友会との連携が不可欠。狩猟者の高齢化や人員確保などが課題。柵等の対策は進み農作物被害は減少。集落ごとの体制づくりを前向きに取組む。

まちの住みやすさ、幸福度

どう高めるとよいか

河内 賀寿

施策を着実にする

東 町長



河内 賀寿 議員

A 住みやすいまちとは、治安がよく、インフラ環境も整備されたまち。幸福度とは、個人の暮らしや気持ちに着目したもの。どう高めるかは、町の将来像「いのち育み未来へつなぐ」笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」と掲げており、引き続き、今後取り組む施策を着実にやりたい。

Q 1月13日の中国新聞、県内幸福度ランキング2022(大東建託調べ)によると、1位下松市、2位光市、3位宇部市と続き、10位田布施町だった。ランキングはあくまで目安だが、住民に幸福と感じてもらうことは大事だ。田布施の住みやすさ、幸福度、どう高めるとよいか。



出典：第6次田布施町総合計画

イノシシ被害

拡大防止対策は

河内

検討する

町長

Q 最近海側にもイノシシが出没、農作物被害が出ている。電気柵など用意を考え始めた人も多くなっていると思う。最新の被害拡大防止対策などあるのか。以前ジビエレストランの難しさの説明もあったが、流通の確立している豚肉料理との共用で許可されて対策にならないか。

A 鳥獣対策支援は町単独事業の農作物被害防止対策事業として、電気柵等設置の補助は実施している。県や国の事業も活用する。ジビエ料理レストランは良質な肉の安定的供給の課題があり、町独自の設置運営は困難。近隣市町と連携し、広域的な取組として検討する。



鳥獣被害防止柵

県内で4番目に高い水道料金

値上げが必要か

落合 祥二

料金体系維持は困難

東 町長



落合 祥二 議員

Q 本町の水道料金、1か月20㎡使用で4708円。県内で4番目に高く、一番安い下松市の約3倍で3174円高い。そこで次について尋ねる。

A ①人口減少の中、料金収入も減少が避けられない。一方、老朽管対策や施設の更新は進めていかなければならない。総合的に勘案して、これまでの料金体系を維持することが、極めて困難な状況にある。

Table with 3 columns: 市町名, 20㎡使用時の水道料金 (令和4年4月1日現在), 普及率 (令和2年度). Rows include 下関市, 宇部市, 山口市, 萩市, 防府市, 下松市, 岩国市, 山陽小野田市, 光市, 長門市, 柳井市, 周南市, 美祢市, 周防大島町, 和木町, 上関町, 田布施町, 平生町, 阿武町.

※ 20㎡使用時の水道料金 家庭用・口径13mm 料金(1か月あたり・メーター使用料を含む。消費税等込。) 2か月単位で検針する場合は金額等を1か月当たりに換算している。

※普及率(%) = (現在給水人口(上水道+簡易水道+専用水道(自己水源に限る)) / 行政区域内現在人口) x 100

※出典: 山口県の水道の現況

田布施駅

バリアフリー化等は

落 合

関係機関と協議 町 長

Q 田布施駅の建替え、バリアフリー化について、どうなっているか、次について尋ねる。 ①駅舎の建替えをJR西日本が提案してきたと聞いたが、その後どうなったのか。 ②駅のトイレの改修は。 ③駅の利用者数を2000人以上にし、国の事業を活用してバリアフリー化しないか。



1日約2,000人が利用する JR 田布施駅

次第、トイレの改修等含め実施したい。 ③駅の利用者数が2000人未満なので、国の事業に該当しない。関係機関と協議しながら慎重に検討していく。

現況は

落 合

給食センターの民間委託

スムーズに運営

鳥枝教育長

Q 給食センターの業務を民間業者に委託し1年7月が経過。そこで、次について尋ねる。 ①現況は。 ②平生町からの共同運営の申し出にどう対応するのか。 ③文科省は給食費の学校独自の会計(私会計)から公会計への移行を促進している。本町は、いつから移行するのか。

A ①委託期間は5か年となっているが、これまでスムーズに運営されている。今後も引き続き安全でおいしい給食の提供に努める。 ②まだ協議を始める段階に至っていない。 ③令和6年度の基幹系・内部系システムの更新に合わせ、公会計へ移行する。

◎その他の質問

田布施地域交流館から広島市紙屋町のバスセンターを結ぶ防長高速バスの廃止について



3月定例会
「直面する課題」に熱い論戦
3人の方に傍聴記をいただきました。

傍聴記

◆町の活性化について 中原 和枝

議会が始まってすぐ変な物音。みんな何が起こったのか不安に。少しして、カラスが屋根をつつく音だとわかり安心。議会が再開。一般質問の時間が1人1時間となり、議員の方々は多方面から質問されています。田布施町が活性化するためには、今ある資源や宝をどのように輝かせるかだと思っています。財政も限られていますが、町長の意見を聞くだけではなく、町として取り組んでほしいことを具体的に聞いて実行できているかを見守ってほしいと思いました。

◆議会を傍聴して 石田 薫美

3月議会の一般質問は身近な議題が多く、大変興味深く聞きました。2月下旬の中国新聞に一般会計予算案が「周防大島町146億円、田布施町64億円」とありました。一概には比べられないけど、人口もあまり変わらない自治体で、この差は何だろうと疑問でした。地方債や基地に係わる特別交付金、離島交付金等で差がある事がわかりました。議会では、限られた予算をどう配分するか、また、自主財源をどう増やしていくか等、熱心に討論されました。町の発展のためには、財源の確保が大変重要だと思いました。

◆今とこれからのわが町 佐々木 悦正

多難な3年から、夢ある町づくりに町民が、課題を共有し挑戦活動しよう。3月定例会一般質問は2日間。多様化と厳しい社会情勢の中で、地域の課題解決と未来創造が主題です。9議員の質問は、現状認識、住民意見をとり上げ、集約された内容で共助テーマが多数。提案型で私見と住民の声を取り込み、他市町の施策、実態等を参考にしたものでした。執行部回答は、喫緊の課題、中長期的施策をからめて説明され、意見要望を検討受け入れ確認された。「自主財源確保」と事業の仕分け、重要、優先性を重視すべきと感じました。「みんなで創ろう！活力・たぶせ」

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【問合せ先】

議会事務局
☎52・5800

6月定例会の日程

8日	本会議（初日）
9日	本会議（2日目）
12日	経済厚生委員会
14日	総務文教委員会
16日	本会議（最終日）

※一般質問は8日、9日に行う予定です。日程の変更は、町HPでお知らせします。

※いずれも午前9時から
※正式には6月5日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

視察研修で来町

◆沖繩県中城村

2月13日(月)に沖繩県中城村議会の5名の議員が来町されました。

中城村は沖繩県本島中南部の中央に位置し、人口は2万2379人(令和5年2月末現在)、世界遺産「中城城跡」をはじめとする歴史的文化財と豊かな自然環境に恵まれています。

研修では「田布施地域交流館について」町の担当者から説明を受けられました。中城村では、学校跡地を活用しての低硝酸野菜等の運営を考えておられるとのこと、積極的に質問され、理解を深めておられました。



研修中の沖繩県中城村議会のみなさん

山口県町議会議員研修会

2月17日(金)、山口市のセントコア山口で開催された、山口県町議会議員研修会に参加しました。会に先立ち、全国町村議会議長会自治功労表彰では10名の議員が、町村議会表彰では1団体が表彰されました。

今回の研修は、「なぜ今LGBTQなのか?」SDGs・リスク・発展性の3点から考える」と題し、講師は、一般社団法人CialFrame代表理事及びNPO法人日本セクシャルマイノリティ協会理事長の中根元美氏でした。LGBTQに取り組む必要性、基礎知識、当事者の方々のイメージ、取り組みメリット等について講義されました。また、会場に当事者の方がゲストとして参加され体験談を通じてLGBTQに取り組む必要性を語られました。社会的関心が高まっているLGBTQについて参加者全員熱心に話を聞いていました。



県町議会議員研修会

※LGBTQとは

L レズビアン
G (女性同性愛者)
B (男性同性愛者)
T (両性愛者)
Q トランスジェンダー
(生まれた時に割り当てられた性別と心の性別が一致してない人)

※クエスチョニング
(好きになる性別や自身の性別が定まっていない、または意図的に定めてない人)

議会だよりモニターを募集します

議会だよりについて意見や要望をいただき、その充実を図るため、議会だよりモニターを募集します。

◆内容

議会だよりを読んでの感想を、1年に2回お寄せいただきます。

◆応募資格

議員または公務員以外で、町内在住の満18歳以上の方

ゆめはな花壇 完成式典

2月26日(日)、ゆめはな花壇完成式典が挙行されました。

地域交流館の向かいに造られた花壇は、田布施農工高校の生徒が設計・デザインし、デコレーションケーキをイメージしたものになっています。



ゆめはな花壇



昨年のモニター懇話会の様子

- ◆募集人数(地域別)
城南1人、東田布施1人、麻郷1人、麻里府1人
- ◆任期(2年間)
- ◆令和5年6月1日から令和7年5月末まで
- ◆応募期限 5月19日(金)
- ◆応募・問合せ先
議会事務局 ☎52・5800

議会だより156号を讀んで

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙の中にもかかわらず、
毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

◇高齢者を支援する意義

鶴谷 純一

昨年は、エネルギー価格の高騰や食料品の値上げが相次ぎ、日々の生活が大変な中で、町民1人5千円の地域応援商品券の配布はとてもありがたく、町民の1人として有効に活用させてもらいました。新しい年になり、今年も議会でもこのような有意義な政策が一つでも多く打ち出される事を期待しています。

12月定例会の一般質問で、8人の議員の方々が様々な質問をされていましたが、交通政策に関する質問が複数ありました。町内の移動には、車がないと不便だと感じる事が多くありますが、高齢者福祉タクシーや買い物送迎サービスを充実させていく事で、移動手段の少ない高齢者を支援する意義は大きいと思います。

あと、田布施駅の賑わいが戻れば、田布施町の経済も活性化すると思うので、JRとの協議が円滑に進む事を願っています。

◇住みよいまち田布施町に

岡田 澄江

表紙の楽市のランタンが幻想的に浮かびきれいです。

補正予算では、電気代高騰への負担が大きくなった事がわかります。その下に、出産祝い金対象者増とあり、昨年8ヶ月で子どもさん7人が社会増となり、若い世帯が田布施町に住みたいと思ってもらえたのは嬉しい事です。

次に一般質問ですが、2人の議員より、人権侵害認定勧告を受けての質問がありました。町は勧告内容を認めています。各質問者より、関係者の処分、処遇、再発防止について問われていますが、重複する所もあり、制限時間内に1人が絞ってもらい、最も重要な「再発防止」について、もっと具体的な内容を質問してもらい、町の対応が聞けたらと思います。

選挙権が18歳からになり、「議会だより」を家庭や学校で話題に取り上げて頂き、住みよいまち田布施町に、みんなですていけたらと思います。

◇魅力ある町づくりを

橋松 かおり

今回の議会だよりでは遊休地の活用、少子化対策についての一般質問が気になりました。

我が家は年中から高校2年生まで5人の子どもがいます。一番上の子が中学時代150人程度の同級生がいましたが、一回り離れた末っ子の同級生はその半分程度しかいないと聞いています。幼稚園や小学校も2クラスから1クラスに減り、少子化が著しいと感じています。医療費補助などの拡充は助かるのですが、日常においての改善も望みます。

例えば、遊ぶ場所がないという子どものために遊休地を公園にする、街灯を増やし下校時の安心安全を確保する、小中学校でのオンライン授業を可能にする、など。病院が近くにないのも難点です。

子どもを育てる環境が整っていると考える町にならないければ、少子化に歯止めはかからないと思います。

◇活気あふれる田布施町に

添郷 明子

表紙のスカイランタンを見て、素敵ないイベントに思いました。こうしたイベントを増やして、町の発展につなげてほしいです。私も、子どもと一緒に参加して、田布施町の素敵などころを伝えていきたいと思いました。

「夜空高く上がるランタンのように、元気で高く舞い上がる年になるように」との編集者や議員の方々の熱い思いが込められて、写真を選ばれていることに感動しました。

今回、視察研修レポートに目が留まりました。県外の良いところが、工夫しているところを取り入れて、町の発展につなげていこうと努力されていることに感銘しました。

田布施町は今、少子高齢化が急速に進んでいます。医療保険、福祉、就労、結婚、子育て、教育、生活環境、移住定住環境を整え、人が集まる町、活気あふれる田布施町になってほしいです。

◇人口減少問題について

平田 満雄

12月定例会の一般質問で4人の議員が人口減少対策や少子高齢化問題を取り上げておられます。

国においては、岸田首相が年頭記者会見で「異次元の少子化対策」に取り組みことを表明され、少子化対策を含む子供関連予算を倍増させる方針を示されました。遅きに失した感は否めませんが、その実効性に期待したいところです。

我が国の総人口が平成20年をピークに減少が続いている中、田布施町だけが人口減少に歯止めをかけることは極めて難しいと言わざるを得ません。この上は、実現可能性の低いマンシヨンの建設や商業施設の誘致を考えるのではなく、あらゆる世代の町民が安心して暮らせる町づくりに地道に取り組むことで、人口減少を少しでも遅らせることしかないと思います。



議員リレー随筆

議会改革は喫緊の課題



國本 悦郎

昨年、全地方議会議長に行ったアンケートの本町議会の回答では、議会のリアルタイム配信やタブレット端末導入、女性議員等全てなしの現状。私は、令和4年度には、

議員としての資質向上と現議会の現状維持と悪しき前例主義を打破するために、全国議員研修に4回行って来た。研修の内容もさることながら、全国から集まった議員と交流し、他の市町の議会とは周回遅れの現状を痛感し、恥じて帰った。
新議長には、リーダー性を発揮して先進事例に学び、議会改革を喫緊の課題として調査する特別委員会の設置を望む。

マスク



河内 賀寿

この春からマスク着用が緩和された。20年後マスクと言えば、のアンケートをすれば、やはり今の若者はコロナ禍のマスクと答えるのかな。私だと、給食当番の時の白いマスクと答える。

大正15年生まれのお父だちよつと違う。戦争中の防毒マスクと答えたはずだ。西小学校の時の軍事教練の話。防毒マスクを着けての駆け足教練の話をよくしていた。息が苦しいから、マスクの下に指を入れて新鮮な空気を吸っていたとのこと。そんな父も、最期は病院のベッドの上で、酸素マスクを着けてのお別れだった。人間の一生で、ほんのわずかな時間ではあるが、マスクはするものですね。

発見!クイズたぶせ?

三択クイズです。2問お答えください。

問1

令和5年度一般会計当初予算のうち、教育費の歳出予算はいくらでしょうか。

- ① 6億1100万円
- ② 61億1000万円
- ③ 6110万円

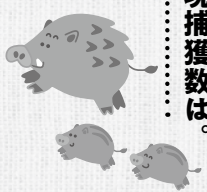
問2

近年増加傾向の鳥獣被害。令和4年度のイノシシの現捕獲数は。

- ① 122頭
- ② 212頭
- ③ 221頭

ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください!



応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

- 宛先 〒742-1592 山口県熊毛郡田布施町 大字下田布施3440-1 田布施町議会事務局 宛
 - 応募締め切り 令和5年5月31日(水)
 - Eメールからもご応募できます gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp
- 正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。
なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は 問1 ③スカイランタン 問2 ③13件 問3 ②らぶちゃん でした。

編集後記

令和5年度の大切な予算審議が行われた、今議会。一般質問も、今回初めて2日に分け開催され、町政に対する切り込んだ質問や、今後の展望など、踏み込んだ内容が多くあった。
前年度対比5.8%減の予算案であったが、子育て支援を主軸に置く東町長の肝いり政策として、「おむつ定期便」「高校生までの医療費無償化」事業が打ち出された。子育て世代の軽減と、住みやすいまちづくりの起爆剤になればと願う。

今回も多くのモニターさんからまちづくりに対しての提案をいただきました。議会としても、真摯に取り組んでいきたい。
(高月)

- 議会広報委員会
- 委員長 高月 義夫
 - 副委員長 河内 賀寿
 - 委員 谷村 善彦
 - 委員 國本 悦郎
 - 委員 内山 昌晃
 - 委員 落合 祥二

